

沿革・歩み

昭和46年	10月	第一勸業銀行創立			
昭和47年	3月	「はあと記念財団」設立			
	8月	「ハートの総合口座」取り扱い開始	10月		外貨建転換社債の発行(3億米ドル、2億ドイツマルク、10億スイスフラン)
	10月	銀行界で初めてのディスクロージャー誌「第一勸業銀行の現況」発行			「ハートのホームバンキングサービス」取り扱い開始
昭和48年	2月	現金自動払出機(CD)設置開始	12月		ファームバンキングによる融資取り扱い開始
	9月	「ハートのマネーカード」取り扱い開始			アメリカのファイナンスカンパニー・CIT 買収
		アムステルダム証券取引所に上場			7,000万株の公募時価発行増資実施
		増資170億円			イギリスの投資顧問会社ヒルサミュエルと業務提携
昭和50年	7月	東京事務センター完成	平成2年	7月	銀行初のニューロコンピュータによる実用システム「債券先物利回り予測システム」稼働
昭和52年	4月	増資250億円	11月		店舗のリニューアル(トータルブランチャ・プロジェクト)開始
昭和53年	2月	外為オンラインスタート	12月		「ATMバイリンガルサービス」取り扱い開始
	11月	「ハートのカードローン」取り扱い開始	平成3年	1月	「ハートのクイックロビー・自動サービスコーナー」の日曜日稼働開始
昭和54年	5月	現金自動預金払出機(ATM)設置開始	2月		全国の本支店すべてを外貨両替店に
昭和56年	2月	新本店オープン	4月		城南信用金庫と包括的業務提携を実施
	6月	「ハートの期日指定定期預金」取り扱い開始	7月		(株)第一勸業総合研究所設立
		ドライブイン店舗練馬平和台支店開設			「フィレンツェ・ルネサンス芸術と修復展」を単独協賛
	9月	自動振込機による為替振込の取り扱い開始	10月		創立20周年
	10月	増資240億円	平成4年	4月	サービストップキャンペーン展開
	12月	宝くじ展示館「宝くじドリーム館」オープン	6月		貯蓄預金「ナイスアカウント」取り扱い開始
昭和57年	6月	日本初の全自動型貸金庫を有楽町支店に設置	平成5年	3月	「ルーヴル美術館200年展」を協賛
	12月	邦銀初のCDを使った金利スワップに成功	4月		銀行界で初めてホームバンキングサービスの土・日稼働を開始
昭和60年	7月	宝くじ40周年	12月		営業店情報システムを導入
	8月	2,000万株の公募時価発行増資実施	平成6年	1月	「バランスメモリー」取り扱い開始
昭和61年	8月	デュエットボンド第1号・デンマーク王国債発行	6月		「ハートの自然環境保護口座」取り扱い開始
	9月	香港の浙江第一銀行を買収	7月		千葉事務センター完成
		「ハートの絵本通帳」取り扱い開始	10月		第一勸業証券(株)設立
	11月	「OA本賞」受賞	平成7年	4月	ハートの社会貢献口座「サポーターズ」取り扱い開始
昭和62年	9月	4,000万株の公募時価発行増資実施	8月		インターネットに当行のホームページ開設
昭和63年	1月	マサチューセッツ工科大学(MIT)に冠講座開設	11月		第一勸業信託銀行(株)設立
		シティバンクとのオンライン提携開始			「ハートベンチャーファンド投資事業組合」設立
	4月	AI(人工知能)による資金運用相談サービス	平成8年	2月	メリルリンチ社とデリバティブ業務について提携
		「マネープラン・エキスパートシステム」全店導入	5月		マニラ駐在員事務所を開設
	5月	国内無担保転換社債1,000億円発行	7月		個人ローン事務受託会社「株式会社第一勸業ローン業務サービス」を設立
		消費者金融コーナー「ハートのローンプラザ」設置	10月		ポイント制総合金融サービス「ハートのエース」のサービスを取り扱い開始
	9月	第三次オンライン稼働			創立25周年
	10月	「債務の株式化」により、当行の保有するブラジル債権をブラジル投資銀行への投資に転換			ヤンゴン駐在員事務所を開設
		都銀初の銀行POS専用端末機によるPOSサービス開始	11月		ファームバンキングの休日稼働と平日取扱時間の延長を実施
	11月	「小さな親切」運動全国大会で大賞受賞	平成9年	1月	国際CMS(キャッシュ・マネジメント・サービス)DKB-WEBを取り扱い開始
	12月	新総合ディーリングルーム開設	2月		創立25周年を祝うベートーヴェン「第九交響曲」演奏会を開催
平成元年	1月	ロンドン証券取引所に上場			
	2月	パリ証券取引所に上場			
	6月	「ハートのスーパーMMC」取り扱い開始			
		スイスのチューリッヒ、ジュネーブ、バーゼル各証券取引所に上場			